



**第12回全農
日本ミックスダブルスカーリング選手権大会**

**チームミーティング資料
(審判長事前通知)**

長野県 軽井沢町

軽井沢風越公園 軽井沢アイスパーク

2019年3月12日(火)～3月17日(日)

この文章は、大会の競技に関する事項をまとめたものであり、この大会に先立って、出場する各チームに大会事務局を通じて配布されます。

したがって、出場するチームの選手とコーチは、この文章を事前に読んで理解し大会当日に持参してください。

本大会は JCA 競技規則 2018. 11 版（桃色表紙）を適用します。

なお、特に必要があると認めたときは、大会中に追加通知を行う場合がありますので留意願います。

最終的な競技説明は 2019 年 3 月 12 日（火）13 時 30 分から軽井沢アイスパーク（2 階ふれあいホール）で開催されるチームミーティングで行う。

プレーヤー全てとコーチはチームミーティングに参加しなければならない。JCA 競技規則 C 2（i）の項を確認する事。

2019 年 3 月

審判長 清水 淳一郎

カーリング精神

カーリングは技術と伝統のゲームです。技を尽くして決められたショットは見る喜びです。また、ゲームの神髄に通じるカーリングの古くからの伝統を見守るのは素晴らしいことです。カーラーは勝つためにプレーしますが、決して相手を見下したりしません。真のカーラーは相手の気を散らしたり、相手がベストを尽くそうとするのを決して妨げたりしません。不当に勝つのであればむしろ負けを選びます。

カーラーは、ゲームの規則を破ったり、その伝統を決して軽視したりしません。不注意にもこれが行われていると気づいた場合、その違反を真っ先に申し出ます。

カーリングの主な目的が、プレーヤーの技術の粋を競うことである一方、ゲームの精神は立派なスポーツマンシップ、思いやりの気持ち、そして尊敬すべき行為を求めています。

この精神は、アイスに乗っているいないに関わらず、ゲームの規則の解釈や適用に生かされるだけでなく、全ての参加者の振舞いにも生かされるべきものです。

出席の確認

A ブロック

1. 札幌国際大学
2. チーム柳澤
3. チーム岩手
4. 札幌協会
5. 竹田・竹田
6. チーム北村
7. 藤澤・小野寺

B ブロック

1. 帯広畜産大学
2. 伊藤・日下
3. オリオン機械
4. チーム鶴浦
5. 藤澤・山口
6. 小谷・荻原
7. チーム熊本

C ブロック

1. チーム樋口
2. チーム川村
3. 妹背牛協会
4. チーム愛媛
5. 鈴木・平田
6. クレイポルド
7. 石垣・神田

1. オリジナルラインナップカード

受付時に「オリジナルラインナップカード」を渡します。チームミーティング

終了後、審判長へ提出して下さい。登録できるのは選手2名と資格を有するコーチ2名のみとします。

2. ドーピング検査

今大会ではドーピング検査が実施される可能性があります。

18歳未満の選手は【ドーピング検査同意書】の提出が必要です。

3. アイスへのアクセス

競技エリア入場の際、全ての選手・コーチ及び関係者は着用する靴を清潔にしておくこと（野外で使用したものは禁止）。

4. 大会競技規則

JCA競技規則2018年11月版（桃色表紙）を適用します。

5. 競技方法

第12回全農日本ミックスダブルスカーリング選手権大会は以下の競技方法により行われる。

(1) 予選 7チーム×3グループによるグループ内総当たり戦

(2) プレーオフ 予選グループ3位チームの（DSC2番 VS DSC3番）

(3) 準々決勝（基本的な対戦）

1、予選グループ1位（1位DSC1番） VS プレーオフ勝者

2、予選グループ1位（1位DSC2番）VS（予選グループ3位DSC1番）

3、予選グループ1位（1位DSC3番）VS（予選グループ2位DSC3番）

4、予選グループ2位（2位DSC1番）VS（予選グループ2位DSC2番）

（4）準決勝（基本的な対戦）

1、準々決勝 1の勝者 VS 4の勝者

2、準々決勝 2の勝者 VS 3の勝者

（5）決勝戦

準決勝 1の勝者 VS 2の勝者

（6）3位決定戦

準決勝 1の敗者 VS 2の敗者

※準々決勝以降の試合では、可能な限り同じグループのチームが対戦しない

ように相手を選ばれる。必要に応じて、相手はラウンドロビン後の

チームミーティングで「抽選」により決定される。

競技規則P82参照

6. 順位決定方式

予選が終了した時点で、以下の条件（並んだ順に）により各グループ内の順位を

決定します。 [競技規則C9参照](#)

- （1）グループ内の順位を決めるためのタイブレークは行いません。
- （2）各グループの1位の中でDSCの1番～3番を決定します。
- （3）各グループの2位の中でDSCの1番～3番を決定します。
- （4）各グループの3位の中でDSCの1番～3番を決定します。
- （5）各グループの3位の中でDSCが1番のチームは準々決勝に進み、DSCが2番のチームと3番のチームはプレーオフに進みます。

7. 試合

- （1）全ての試合は8エンドで行われる。最終エンド終了時点で同点の場合は、勝敗が決するまでエキストラエンドを行う。
- （2）試合成立は6エンド終了する必要があります。

8. 大会で使用されるストーン

本大会では軽井沢アイスパーク所有のストーンを使用する。

9. ストーンの割り当て

- （1）予選においてはタイムテーブルの上段に記載されたチームが「赤」のストーンを使用します。
- （2）予選終了後の試合では、[競技規則C8（g）](#)を適用する。

10. プレー中のユニフォーム

JCA競技者ユニフォーム規定（2018年10月改定）を守る事。

11. 試合時間

- (1) どちらかのチームが必要ないのに試合を遅らせていると審判が判断したときは、その審判は違反を冒しているチームにその旨を告げる。
その告知後、デリバリーをするストーンが45秒経過してもデリバリーをする側のティーラインに到達していない場合、そのストーンを直ちにプレーからはずす。
- (2) 全ての試合において、22分のシンキングタイムが各チームに与えられる。
- (3) エキストラエンドが必要な時は時計をリセットし3分のシンキングタイムが各チームに与えられる。
- (4) **各エンド間のブレイクはストーンの配置を含めて90秒以内**とし、準備が整い次第競技開始する事を認めます。
- (5) 全ての試合において、**4エンド終了後5分間のブレイク**があり、登録されたコーチ及と競技エリアで会うことができます。**ブレイク終了の90秒前**に通知をしますので準備が整い次第競技開始する事を認めます。
- (6) 各エンドのブレイク終了時に投球が始まっていない場合時計が動きます。
- (7) ストーンの配置が未了で投球ができない場合下記チームの時計が動く。
ポジションAのストーンの配置が未了の場合は先攻チームの時計。
ポジションBのストーンの配置が未了の場合は後攻チームの時計。
- (8) パワープレイを行う場合は速やかに相手チーム及び審判に教えてください。
- (9) **パワープレイはエキストラエンドでは選択できない。**

12. チームタイムアウト

- (1) 各試合につき1回、エキストラエンドではエンドごとに1回のチームタイムアウトを取ることができます。
- (2) チームタイムアウトは、アイスの上のプレーヤーのみが要求できます。
- (3) チームタイムアウトのコールは、自分のチームの時計が動いているとき、両手で「T」の形を作り、審判とタイマー席に大きく、明確に合図をして下さい。
- (4) コーチの移動時間は**ホーム側・ボード側とも60秒**とし、チームタイムアウトの60秒と合わせ2分を表示し、チームタイムアウト終了10秒前に通知します。時間終了後は時計が動きます。
- (5) コーチとの接触は、ハウスの後方及びサイドの通路とし、アイスの上に乗ることはできません。

13. テクニカルタイムアウト

- (1) ルールの解釈・怪我やその他酌量すべき事情で、チームはテクニカルタイムアウトを取ることができる。テクニカルタイムアウト中、試合の時間は止まる。
- (2) テクニカルタイムアウトは、アイスの上のプレーヤーのみが要求できます。
- (3) テクニカルタイムアウトのコールは、胸の前で「X」の形を作り、審判とタイマー席に大きく、明確に合図をして下さい。
- (4) 合図がされると時計は止まります。審判がテクニカルタイムアウトを取る必要性について確認します。
 - A) 必要な場合は、事由が発表され問題が解決した後、時計が動きます。
 - B) 無効な場合は、時計が直ちに動きます。

14. 最初にストーンの配置を決定するチーム

- (1) どのチームが1エンド目にストーンの配置を決定するのかを決めるためにLSDを用いる。
- (2) 1エンド目以降は得点をしなかったチームがストーンの配置を決める。
- (3) 計測が同じでブランクエンドになった場合はストーンの配置を決めるチームは変わらない。

15. ラストストーンドロウ（LSD）について

- (1) 試合前の練習後、ストーンをそれぞれ2投異なるプレーヤーがホームエンド側のティーをめぐってデリバリーする。
- (2) 1投目は時計回りの回転で、2投目は反時計回りの回転。
- (3) それぞれのストーンの記録された距離が足し合わされその試合におけるチームのLSDの合計となる。LSDの合計が小さなチームがその試合の1エンド目のストーンの配置を決める。
- (4) LSDの合計が同じ場合は、個々のLSDが比較され1番いいLSDが短いチームにストーンの配置を決める選択権を与える。個々のLSDが全く同じだった場合、トスをして選択権を決める。
- (5) 本大会では、一人の選手につき**時計回り・反時計回りそれぞれ3投**です。
- (6) LSDの計測はティーからストーンの中心までの距離である。ハウスに入らなかったストーンの距離は199.6cmである。
- (7) ティーを覆ったストーンは4フィート上の2点から計測されます。
- (8) LSDの投球は審判のアナウンス後**60秒以内に投球**して下さい。

アナウンス前の投球や60秒経過時点で投球する側のティーラインに到達していないストーンは無効となり199.6Cmと記録されます。

16. 試合前練習

- (1) 公式練習の時間は別紙に示す通りです。
- (2) 全ての練習においてプレーエリアへ入ることができるのは選手2名と登録された2人のコーチのみとする。
- (3) 全ての試合において各チームに7分間の試合前の練習時間があります。
- (4) 予選ラウンドロビンの試合では試合開始25分前から先練習チーム（赤色のストーン）の練習が開始され、終了後LSDを行います。続いて後練習チーム（黄色のストーン）の練習が行われ、終了後LSDを行います。
- (5) 予選ラウンドロビン以降の試合では1エンド目のストーンをBのポジションに配置するチームが先に練習をします。
- (6) 予選ラウンドロビンの試合前練習では8個のストーンすべてを使い練習することができますが、置き石はあらかじめ指定します。練習及びLSDの終了後に試合で使用する5個のストーンを選択して下さい。1個の予備のストーンに印をつけます。予備のストーンはエンドの終了後に交換し、投球することができます。
- (7) 置き石に使用するストーンのローテーションは、公式練習前に連絡します
- (8) 予選ラウンドロビン後の試合では、8個のストーンの中から置き石にする2個、試合に使用する5個、そして予備の1個を選択して下さい。
- (9) LSDに限り置き石に指定されているストーンを投球できる。

17. 試合前練習の手順

全ての練習は審判員により管理され、下記のような明確な指示をします。練習開始またはストーンをチェックする前に適切な指示を待つこと。

《先練習》

- (1) 練習開始1分前で用具を冷やして下さい。スライドはしないで下さい。
- (2) 練習を開始して下さい。
- (3) 6分後 練習終了1分前です。
- (4) 7分後 練習終了です
- (5) 時計回りのLSDを行って下さい（1分以内で行う。 計時する）
- (6) 計測を行う。
- (7) 反時計回りのLSDを行って下さい（1分以内で行う。 計時する）

《後練習》

- (1) 練習開始1分前で用具を冷やして下さい。スライドはしないで下さい。
- (2) 練習を開始して下さい。

- (3) 6分後 練習終了1分前です。
- (4) 7分後 練習終了です
- (5) 時計回りのLSDを行って下さい (1分以内で行う。 計時する)
- (6) 計測を行う。
- (7) 反時計回りのLSDを行って下さい (1分以内で行う。 計時する)

18. 置き石について

試合中置き石に指定されている石を投球した場合は、投球された石を取り除き全ての石を違反が行われる前の位置に戻す。

19. ドローショットチャレンジ (DSC)

DSCは予選ラウンドロビンでチームによりデリバリーされた全てのLSDの平均値である。本大会では平均を求めるとき最も悪い記録2つを除く。

20. イブニングプラクティス

予選ラウンドロビンの間は各日、次の日に使用するシートを使用し練習することができます。

各日全ての試合終了後5分後より始まり、練習時間は1シート8分間です。

練習の順番は各日共ホールの入り口に掲示しますので練習をするチームは○印をして下さい。練習をしないチームがいる場合はそのシートの順番を繰り上げます。チームの使用するシートの時間が重複した場合はそのシートの最後の時間に繰り下げます。 **申込締め切りは15:00です**

21. 予選ラウンド後の使用シート

予選ラウンドロビン後に使うシートは、各チームの公平性を保つため予選ラウンドロビン後に行うチームミーティングにて発表します。

22. 予選ラウンド後のチームミーティング

予選ラウンド終了後各グループの1位～3位のチームに対するチームミーティングを行います。

予選ラウンド全ての試合終了30分後より行います。場所は後日連絡します。

選手2名もしくは選手・コーチの各1名の最大2名のみ参加できます。

ミーティングに参加しないチームはそのチームが有する全ての権利を失います。また、ミーティングでは携帯電話等の電子機器を用いて外部と接触をすることはできません。

23. 得 点

エンドの得点が合意されたら、得点をしたチームが審判に告げてください。
試合終了後はその試合の得点を確認し、**代表者がサイン**をして下さい。

24. 計 測

全ての計測は審判が行います。

25. アイスへのダメージ **JCA競技規則 R10参照**

プレイヤーは、用具・手あるいは体でアイスにダメージを与えてはならない。
違反が行われた場合は以下の手順に従う。

- 1回目＝1回目のオンアイスでの公式警告、傷を修理
- 2回目＝2回目のオンアイスでの公式警告、傷を修理
- 3回目＝傷を修理、プレイヤーを試合から退場処分

26. ホッグライン違反

本大会では電子的なセンサーを用いたハンドルを使用します。

センサーをセットしないでの投球、手袋等を着用したままの投球は
ホッグライン違反となります。

赤色のライトの点灯、緑色・赤色のライトが点灯しない場合はホッグライン
違反ですのでチームは速やかにストーンを取り除いてください。

ローバッテリー（赤・緑の交互点滅）や不点灯またはハンドル異常の場合は
速やかにテクニカルタイムアウトを要求して下さい。

**※LSD限定：LSDで投球したストーンに限り赤色ライトが点灯しても
ストーンを取り除かないで下さい。ストーンハウス内に静止した場合、
計測を行いその後ストーン（センサー）の確認を行います。ストーンに異常が
ない場合はホッグライン違反となり199.6Cmと記録されます。**

27. 試合終了後について

試合終了後、選手は他のシートの試合の妨げにならないようにすること。
チームのコーチはプレーエリアに入ることはできない。

28. コーチベンチ

コーチ席にはオリジナルラインナップカードに記載されているコーチ2名のみ
座ることができます。（必要に応じて通訳）

会話でも違う形でもコーチ席にいる人と氷上にいるプレイヤーが
コミュニケーションを取ることはできない。またコーチベンチの人物は同じ

ベンチに着席している人物以外とコミュニケーションを取ってはならない。違反がある場合には審判長または副審判長に競技エリアから退場させられる場合がある。

コーチベンチではマスコットやチームフラッグの掲示は禁じられており、常に“クリーン”状態であること。応援や大声を上げることは禁止されている。

29. テレビ中継

本大会はテレビ中継が予定されています。試合中の選手とコーチのご理解とご協力をお願い致します。中継に該当する試合では選手の皆さんにはマイクの装着をお願い致します。また、中継の内容により各エンド間のブレイクタイムが変更になる場合があります。その場合は事前に通知しますのでご承知おきください。

30. 選手に対するインタビュー

試合の間や終了後に選手やコーチに対してインタビューが行われる場合がありますのでご了承ください。試合終了後のインタビューは定められた場所にて行われますのでご協力をお願いいたします。

31. クレスト

ユニフォームに着けるクレストは「JCAユニフォーム規定」に沿って事前に許可されたもの以外の着用は認められない。

32. 相応しくない振舞い

不当な行為、ヤジや不快な言動、用具の乱用、あるいは選手、コーチ、大会関係者への意図的な攻撃は禁止される。違反行為に対しては、退場処分を科せられる場合があります。

33. 報道

カーリングの大会を行うには報道関係の支援が必要である。全ての選手・コーチ・チーム関係者は報道関係者の常識的な要求には協力することが求められるが、何か問題がある場合は、審判長・副審判長に伝えること。

34. 喫煙

競技施設内は禁煙です。決められた場所をお願い致します。

35. 携帯電話及び電子的なコミュニケーションツール

競技エリアに入る前に携帯電話の電源はオフにするかマナーモードにして下さい。また、競技エリア内での通話は厳禁です。

電子的なコミュニケーションツール（スマートフォンやスマートウォッチ）は競技エリア内に持ち込むことはできません。

36. 整理整頓

チーム及び個人の持ち物はすべて競技エリア後方にある黒のついたての後方に整理整頓し、歩行エリアやついたての前には置かないこと。施設内は常に整理整頓しゴミは各自お持ち帰りください。

37. 用具 **JCA競技規則 C3**

チームが使用できるブラシヘッドは、WCF Current Approved Product Codesに記載されたものだけである。

各選手は試合開始時に、使用する承認済みの用具を指定し、試合中はその選手のみがその用具を用いスウィーピングすることができる。

各選手・コーチのブラシには指定された色のテープを巻く。

審判長が特別に許可した場合を除き試合中にブラシヘッドを交換することはできない。

（ブラシの柄が折れた場合は今まで使用していたブラシヘッドを使用する）
基準に則していない用具を使用した場合は罰則規定により処罰される

38. その他。

JCA競技規則と審判長通知事項の解釈に違いがあるときはJCA競技規則を優先します。

この通知事項及び競技規則に記載されていない事項が発生した場合は、その都度審判長が対応します。

他のシートで試合が行われている場合であっても、試合が終了したシートから製氷作業を行う場合がありますのでご了承下さい。

39. 意思決定

不測の事態、またはヒューマンエラーによりこの書類に変更及び修正が必要な場合、大会実行委員会は、大会中のいかなる時点であっても、この書類を改正する権利を持つ。